

次世代自動車センター活動レポート Vol. 23

■ EV 車両分解活動 「BMW C evolution 試乗会」

当センターでは今年度、EV 車両分解活動として、BMW 社の電動スクーター「C evolution」を購入しました。そこで、車両を分解する前に実際に試乗、電動スクーターの特性、優位領域などを体感していただく機会として「試乗会」を実施しました。現地ではエンジン車との比較も出来たことから、参加者の皆さんは電動車の特色を明確に感じていただけたようです。

■ 日 時：令和元年 9 月 12 日（木）

■ 場 所：ヤマハテクニカルセンター

■ 参加者：23社38名

■ C evolution 概要



2014年5月のヨーロッパデビュー以来、その走りとテクノロジーへの信頼感から、高い人気を博している。最大160kmの航続距離、都市でのスピーディーな移動、サステナビリティの観点から、BMW Motorradをさらに強固なブランドへ加速させる。（日本では2017年より販売）

【参加者の声】

- ・ エンジンとモーターのトルクの差がよく理解できた。
- ・ 加速、減速性能、音の比較ができた。
- ・ 走り出しや停止の際の動作がガソリン車と違い、発電するためのシステムを感じた。
- ・ 加速はパワフルかつ滑らかなもので、走行中は車体の重量は気にならなかった。
- ・ エンジン車と比較するという手法が良かったと思います。
- ・ 電動バイクに乗ることで、モーターを使用した自動車の感覚を学ぶことができた。やはりバッテリーは重いと感じた。
- ・ ガソリン車との違いはやはり加速、減速にほとんどブレーキを必要としなかった点。充電の課題もあるが、今後、我々製造業の造るものが変化していくことを痛感した。
- ・ 次世代の車両として電動バイクを体験し、四輪と比較して、より重量を感じるとともに、剛性も必要になると思った。
- ・ 回生が強く驚いた。インバーター、モーターまわりの音が予想よりも大きかった。

